

# 薬草園かわらばん

皆さ〜んちょっと覗いてみませんか？  
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2018年  
1月22日  
第32号



## ロウバイ (ロウバイ科)

園に入り通路の右側ナンキンハゼの木の前あたりで咲き始めています。漢名は蠟梅、蕾を生薬名で蠟梅花と云い、鎮痛、解熱、消炎を目的に用います。中国原産で日本には江戸初期に渡来し観賞用によく植えられている落葉低木です。蠟月（旧暦12月）1〜2月の頃、葉が出る前に香りの良い黄色の花を下向き又は横向きに開いています。いくつかの品種があり、本園のものは、写真のように花全体が黄色で、ソシンロウバイという品種になります。種子にはアルカロイドのカリカンチンが含まれ、中枢神経を興奮させる作用があると言われていいますので、口に含む事はほとんど無いと思いますが、十分気をつけてください。

## ミツマタ (ジンチョウゲ科)

中世に渡来した中国原産の落葉低木です。つぼみと根皮をそれぞれ生薬名で夢花、夢花根と云い、夢花は夜盲症や難聴などに、夢花根は関節痛などに用いられます。繊維は和紙の原料になり、こちらの方がよく知られています。茎は3つに枝分かれして、この特徴が名前の由来となっています。花は葉に先立って咲き、枝の先端に球状に付きますが、花に花弁はありません。本園のミツマタは、がく筒の内面が黄色ですが、赤色の園芸品種もあります。注意したい点は、汁液が皮膚に付着すると炎症を起こすことがあるので、付着した時は速やかに洗い流して下さい。

**今、こんな草木が楽しめます。 待ってまーす！！**